



熊本市 感染症発生動向調査 速報

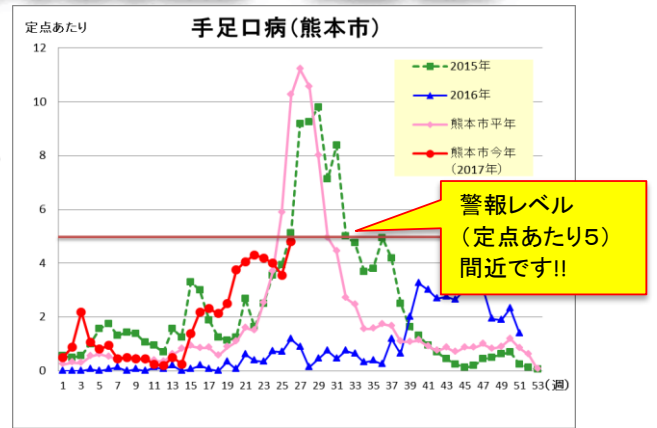
●手足口病が流行しています。

手足口病が定点あたり4.81(警報レベル定点あたり5間近)と流行しています。手洗いをし、感染予防に努めましょう。

手足口病はコクサッキーウイルスをはじめとする、エンテロウイルスの感染によって、口の中や、手足などに小さな水ぶくれ(水疱)ができる感染症です。発生の9割が、5歳以下の乳幼児です。

◆どんな病気？

- ・症状……………口の中、手のひら、指、足の裏などに2～3mmほどの水疱性発疹が出ます。この水疱は、かゆみがなく、痂皮(かさぶた)を作らずに治るのが特徴です。発熱を伴うこともあります。38℃以下の場合がほとんどです。
- ・潜伏期間…3～5日程度
- ・感染経路…感染者のくしゃみのしぶきや鼻水、水疱、便の中に含まれるウイルスが、手などを介して口や鼻の中に運ばれることによって感染します。症状がなくなったあとも、2～4週間は便の中にウイルスが排泄されます。
- ・流行期……………夏(7月下旬ごろ)にピークを迎えますが、秋から冬にかけても少し発生がみられます。



警報レベル定点あたり5



◆かかったらどうすればいいの？

- ・ほとんどの場合、特別な治療は必要なく自然に治りますが、まれに髄膜炎や脳炎を合併することがあります。元気がなくぐったりしていたり、頭痛や嘔吐、高熱、2日以上発熱があるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。
- ・口の中を痛がって、水分や食事がとれなくなることがあります。薄味でやわらかいもの、白湯やスポーツ飲料などをこまめにとらせ、脱水にならないようにすることが大切です。

◆予防法は？

- ・手洗いが基本です。特に感染者の排便後の手洗いが重要です。感染している子どものおむつを取り替えたり、鼻水をとったりした後は、しっかり手を洗いましょう。

期 間		平成29年 25週		平成29年 26週	
		6/19～6/25		6/26～7/2(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	6	0.24	7	0.28
RSウイルス感染症	➡	0	0.00	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	23	1.44	16	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	⚠	72	4.50	52	3.25
感染性胃腸炎	⚠	113	7.06	98	6.13
水痘(みずぼうそう)	➡	4	0.25	10	0.63
手足口病	🔴流行中!!	57	3.56	77	4.81
伝染性紅斑(りんご病)	➡	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	➡	9	0.56	10	0.63
百日咳	➡	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	🟡流行中	16	1.00	35	2.19
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	3	0.19	6	0.38
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	14	2.80	6	1.20
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	2	0.40
マイコプラズマ肺炎	➡	1	0.20	1	0.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00